楽しみな発表会

寒さの一番厳しい時期になりましたが、子ども達が植えたチューリップの芽も出はじめ、みんなサッカーや鬼ごっこなど元気に園庭を走り回っています。今年は半袖でこの冬を過ごしている年長の友達もいました。薄着の子が増えています。本当にみんな強くなりましたね。３学期も残り少なくなってきましたが、一日一日を大切に子ども達の無限の力を引き出し心の成長をさせていきます。

先日行われた『もちつき』では、お父様方のお手伝いを頂きありがとうございました。子ども達もお父様方の力強さに「すごいね」と大喜び、自分たちも負けないように杵を持ってもちをつき、出来立てのおもちをまるめ、黄な粉もちにしておいしく食べることができました。前日にもち米をといだり、もちになる過程を見たり、伝統行事の良さを感じながら、楽しく思い出に残る一日になりました。

もうすぐ発表会がありますが、一年間の集大成です。ステージでの発表を子ども達も楽しみにしています。音楽にのって体をうごかしたり、劇の役になりきったり、大きな声ではっきりと言うことが出来ることで自信がつきます。そして毎日お互いに励ましあい体操も頑張っています。特に体操は自分から進んで出来るようになるまで何回も取り組んでいる姿、そして出来た時の喜びの笑顔は本当に素晴らしいです。どのクラスも発表会に向けて楽しみながらみんなで力を合わせて作り上げていますので、ご期待下さい。

また、発表会の衣装作りも保護者の方にお手伝い頂きありがとうございました。

園長　　村田　純子

副園長のつぶやき

いよいよ発表会が行われる2月になりました。発表会の練習を見ていて思うことは、以前より大きな声をだせるようになったということです。

今回年少の見どころとして、遊戯の最後に自分の名前を言う場面があります。今までは教師に名前を呼ばれ「ハイ」の返事のみで、それを恥ずかしそうに言っていた子ども達も多かったのですが、今年は自分の名前にチャレンジです。ステージ練習を見ているとすごく頑張っています。というより自信満々で大きな声で言っています。自信がつくと、声は自然に大きくなっていく。そのようなことを子ども達を見て実感しています。年中の劇も役になりきる子ども達が増えてきました。大きな声と大きな動き。これも今までいろいろな事に頑張ってきた積み上げでしょう。

そして、年長。今までの集大成です。今、正直に感じるのは子ども達の「したい！」という意欲です。子ども達はいつも「先生、見て！」と言ってきてくれます。どうしてそんなにするのか聞いてみたところ、「だって、僕も上手になりたいっちゃもん」と答えてきます。また、「お父さん、お母さんにいいところを見せるっちゃん」と言って、黙々と練習している子ども達もいます。その言葉に私も一人の父親として心が動かされます。

私が本当に大切だと思うのは、子ども達が卒園してからどう成長していくかということです。ただ、読み書きや体操ができているということではなく、友達を本気で応援してきた優しい心、最後の最後まであきらめない強い心。そして、自分で考えて行動していくということ。その心があれば、小学校に行っても絶対大丈夫だと信じています。

その思いで今年度残りわずか全力で頑張っていきます。保護者の皆様も発表会では子ども達へたくさんの拍手をお願いします。

副園長　鷹取　綱一